



今月の

大植とびと

# 大植町NPO・ボランティア団体連絡協議会のみなさん

東日本大震災津波から10年を迎える今月は、3月11日に追悼行事を開催している「大植町NPO・ボランティア団体連絡協議会（以下、「連絡協議会）」の会長の多田 左衛子さん（表紙の写真 後列 左から2番目）と実行委員長の岩間 眞樹子さん（表紙の写真 前列 左から3番目）にお話を伺いました。



## 思いを伝える

**多田さん**——連絡協議会は町内で活動している様々な団体で構成されていて、それぞれの団体での活動の情報を共有したり、一緒にイベントを開催したりしています。3月11日に合わせて開催している「3・11集い〜灯火〜」は、神戸市で開催されている阪神淡路大震災の追悼行事を参考にしてペットボトルで作った灯籠の中にキャンドルを灯し、「3・11」を描くように並べ、震災を忘れず追悼の思いを伝えていくために開催し

ています。

この行事は平成25年から始まり、当初は町内で活動している「新生おつち」が開催していて、平成26年に結成した連絡協議会が引き継ぎました。昨年は新型コロナウイルスの感染拡大のため開催できませんでしたが、今年は感染症対策をしながら文化交流センターおしゃっちで開催します。今回は、ろうそくの代わりにLEDキャンドルや鮭の形をした紙に書かれたメッセージの展示などがありますので、足を運んでいただけたら嬉しいです。

## 未来に残す

**岩間さん**——「3・11集い〜灯火〜」は、たくさんの方の支えのおかげで今回8回目を迎えることができました。町内の方々のご協力はもちろん、

県外からも3月11日に合わせてお花を送っていただくなど本当に感謝しています。

震災から10年が経っても震災のことを思い、手を合わせる機会は必要なのだと思います。この行事をおして、震災を経験した人たちはもちろん震災を経験していない子どもたちや町外の人たちにも追悼の思いや震災の記憶を伝えていければと思います。

